



『覚・求・徹』

～ 校長室 だより ～

令和8年3月13日(金)

第12号

葛城市立白鳳中学校

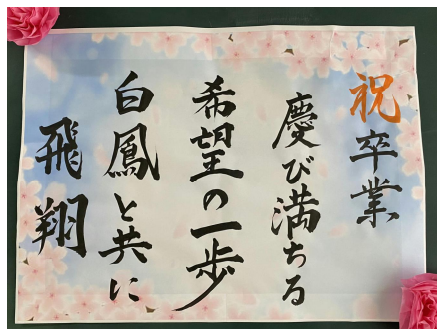
校長 中川 順一



第76回卒業証書授与式 ～158名の旅立ち～



卒業生入場



「旅立ちの日に」合唱

3月12日(木)、葛城市副市長をはじめ多数のご来賓、保護者、地域の皆さまのご臨席を賜り、第76回卒業証書授与式を挙行了しました。柔らかな春の陽ざしの中、たくさんの方々に祝福され、式は肅々と進行しました。

卒業生を代表して原田さんが答辞で述べた「在校生の皆さん、皆さんのまわりには、はげまし合い、互いを高め合える仲間がいます。どうか人を思いやり、感謝する心を持ち、恥ずかしくない行動をしてほしいと思います。」の言葉。みんなでこの思いを大切につないでいきたいですね。

私からは式辞の中で、昨年97歳で亡くなられた京都・仁和寺に仕える16代目桜守の佐野藤右衛門さんのお話をしました。彼はこう語ります。「桜は必ず下を向いて咲きます。他の花は太陽に向かって咲くのに桜は下を向く。それだけ人を包みこんでいるのだ。それ以外はおなじ親の種から育てても花のつきかた、色、似てるように見えてどこか違うのです。それぞれ個性があるからおもしろい。」まさに私たちの家族、学校、社会、そして、人同士のつながりと同じです。卒業生のみなさんには、そんな周りの人へあたたかな見守りができる人、そして、桜のように周りの人を包みこむような人になってもらいたいと願っています。

卒業生のみなさんがこれまでの義務教育9年間、そして、この白鳳中学校で学んだことが根となり、幹となり、樹皮や樹液となり一人ひとりの素敵な桜となって輝くことと思います。その源が君たちがすでに持っている「不屈の精神」であることを信じています。

最後に巣立っていく卒業生に次の短歌を送りました。

「散るといふ飛翔のかたち

花びらはふと微笑んで枝を離れる」



この短歌は、俵万智さんが『サラダ記念日』で詠んだもので、充実した時間を過ごした後に訪れる満ち足りたほほ笑みのような桜が、時を知って飛び立っていく。花が散った後は、実がなり、種ができ、そして次の年も花を咲かせる。卒業生のみなさん、君たちが輝かしい未来へ大きく羽ばたいていくこと、そして、これから出会うなかまと共に豊かな人生を送ってくれることを願っています。

(裏面につづく)

卒業式の最後に小笠原蒼樹さんの指揮、新谷聖羅さんの伴奏の下、卒業生全員で合唱した式歌「旅立ちの日に」。温かな歌声と共に「卒業生158名の旅立ち」への一人ひとりの思いが会場いっぱいに広がりました。

卒業生の皆さんには、私から1枚ずつ次のはがきを担任の先生を通して渡していただきました。

卒業生の皆さん、在校生のみなさん、

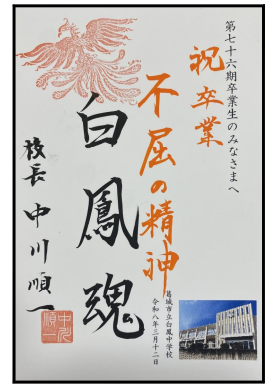
本当に素晴らしい卒業式をありがとう！

皆さんの「輝かしい未来」と「生涯にわたっての健康と幸せ」を

心よりお祈りしています。



← 本年度卒業生と PTA の皆さまの合同で式典用パイプ椅子を記念品として寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。



3年生主権者教育

3月6日、3年生を対象に市の選挙管理委員会の方を講師に迎えた「主権者教育」を行いました。特別ゲストとして阿古和彦市長にもご来校いただき、「未来を創る一票」の大切さについて直接お話しをいただきました。後半は、代表生徒による「選挙演説」の後、実際の記載台や投票箱を使用した模擬投票を実施しました。



3年生地域へ奉仕作業

卒業を間近に控えた3年生が、3年間お世話になった地域への感謝を込めて清掃活動に取り組みました。4グループに分かれ、普段何気なく通っている道を丁寧に歩きながらゴミを拾い集めました。

この活動を通じ、改めて地域に見守られている自分たちの環境を実感する良い機会となりました。



SPS（セーフティプロモーションスクール）の認証をいただきました！

2月24日にSPS（セーフティプロモーションスクール）認証式を開催させていただき、日本SPS協議会理事長・藤田大輔様、文部科学省安全教育推進室室長補佐・合田遼様のご臨席のもと認証書への調印のほか、生徒会役員が日頃の安全活動を力強く報告しました。ご来賓からは、安全への意識を高く持つ重要性が語られました。認証をいただいたことはゴールではなくスタート地点であり、今後も「より安全な学校」を目指して決意を新たに、一丸となって活動を推進していきます。

SPSとは「自助・共助・公助」の理念のもと、わが国独自の学校安全の考え方を基盤とする包括的な安全推進を目的として構築された取り組みです。「包括的かつ協働的な学校安全の推進をゴール（目標）とするスタートラインに立っている学校」として認定された学校と言えます。



保護者の皆さまへ

3年生の保護者の皆さま、これまでの本校にいただきましたご厚情に感謝し、心より御礼申し上げます。今後も地元の中学校として温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

また、在校生の保護者の皆さまには、これまでに引き続き本校教職員と共に良き伝統を守り、さらに新しい取組をすすめていけますようご支援いただければと思います。3学期も残すところ1週間となりました。令和7年度の締めくくりをしっかりと進めてまいります。